

株式会社 鳥取銀行 2020年度 会社説明会

2020年 6月
頭取 平井 耕司

TOTTORI
BANK



鳥取銀行

2019年度の業績

2019年度業績の概要	...	2
資金利益	...	3
預金・貸出金	...	4
有価証券	...	5
役務利益	...	6
健全性	...	7
業績予想	...	8

中期経営計画の進捗状況

計画概要	...	10
計数目標の進捗状況	...	11
【営業力強化戦略】法人営業	...	12
【営業力強化戦略】個人営業	...	13
【営業力強化戦略】地方創生	...	14
【営業力強化戦略】FinTech	...	15

【生産性向上戦略】業務効率化	...	16
【生産性向上戦略】働き方改革	...	17
ESG・SDGsにかかる取組み	...	18

投資家の皆さまへ

株価推移	...	20
株主還元	...	21

参考資料

業績	...	23
経営指標	...	24
預金	...	25
貸出金	...	26
業種別貸出金	...	27
金融再生法開示債権	...	28
自己資本比率	...	29
株主構成	...	30



2019年度の業績

2019年度業績の概要

～貸出金利息や有価証券関係損益の減少等により減収・減益～

損益状況

(百万円)

	18年度	19年度	前年比
経常収益	13,885	13,286	△599
業務粗利益	11,108	10,702	△406
資金利益	9,666	9,439	△227
役務利益	983	1,108	125
その他業務利益	458	154	△304
うち債券関係損益	366	31	△335
経費	9,807	9,280	△527
実質業務純益	1,300	1,422	122
コア業務純益	933	1,390	457
株式等関係損益	705	552	△153
総与信関連費用	551	715	164
経常利益	1,599	1,449	△150
特別損益	△155	△92	63
当期純利益	938	894	△44

決算概要

経常収益

13,286百万円(前年比△599百万円)

- ・貸出金利息の減少
- ・有価証券利息の減少
- ・国債等債券売却益、株式等売却益の減少

コア業務純益

1,390百万円(前年比+457百万円)

- ・資金利益の減少
- ・経費(人件費、物件費等)の減少

経常利益

1,449百万円(前年比△150百万円)

- ・実質業務純益の増加
- ・株式等関係損益の減少
- ・総与信関連費用の増加

当期利益

894百万円(前年比△44百万円)

- ・経常利益の減少

資金利益

～貸出金利息や有価証券利息の減少により資金利益は減少～

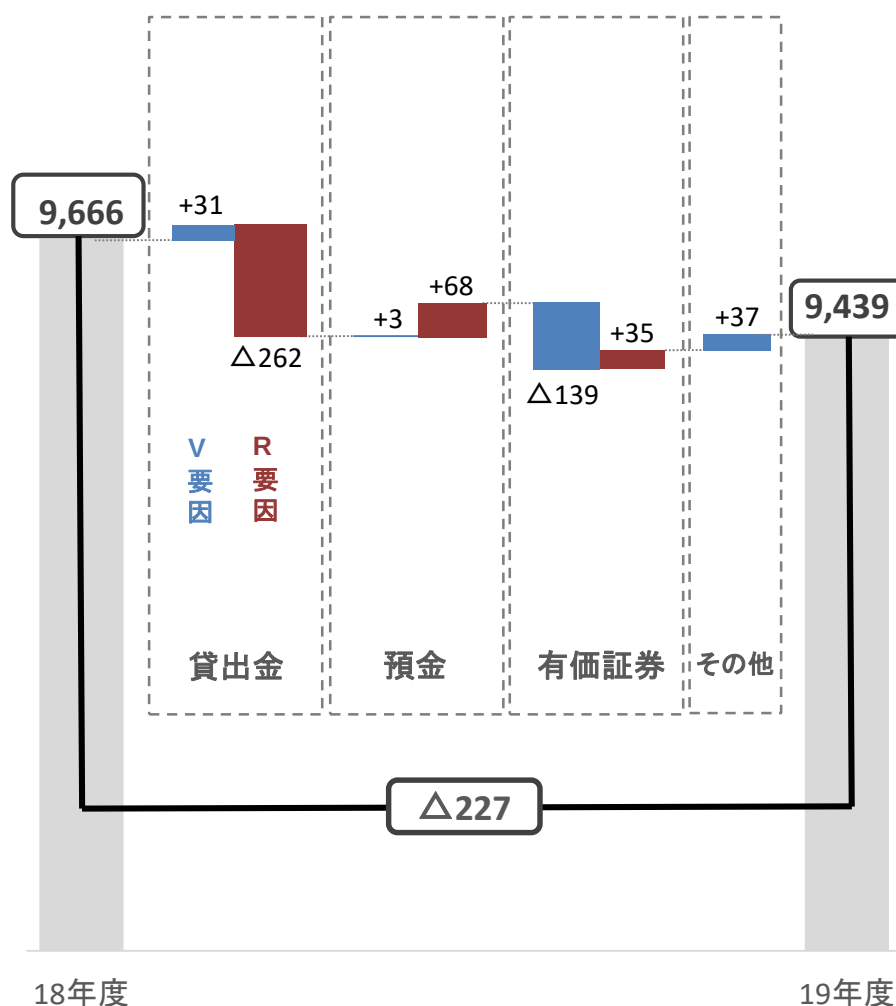
資金利益内訳

(百万円)

	18年度	19年度	前年比
資金利益	9,666	9,439	△227
うち貸出金利息	8,910	8,678	△232
うち有価証券利息	1,004	900	△104
うち預金利息(△)	412	341	△71

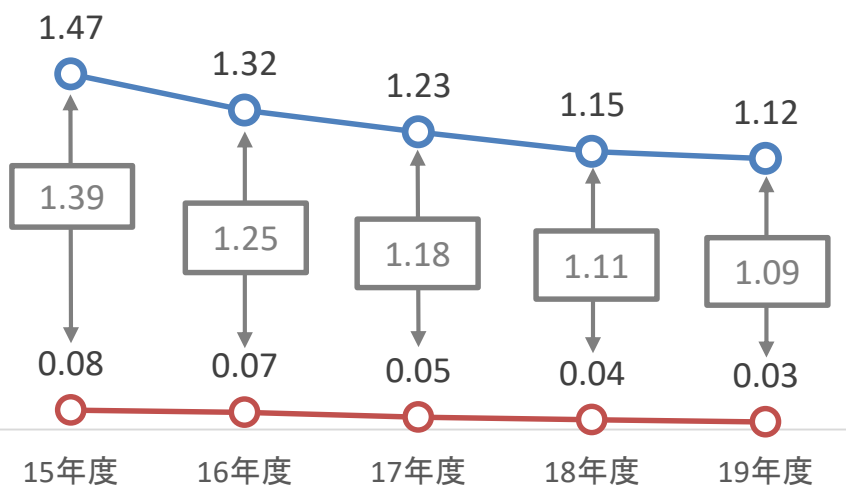
資金利益増減要因

(百万円)



貸出金・預金利回

● 貸出金利回 ● 預金利回 (%)



～貸出金残高は期末過去最高を更新～

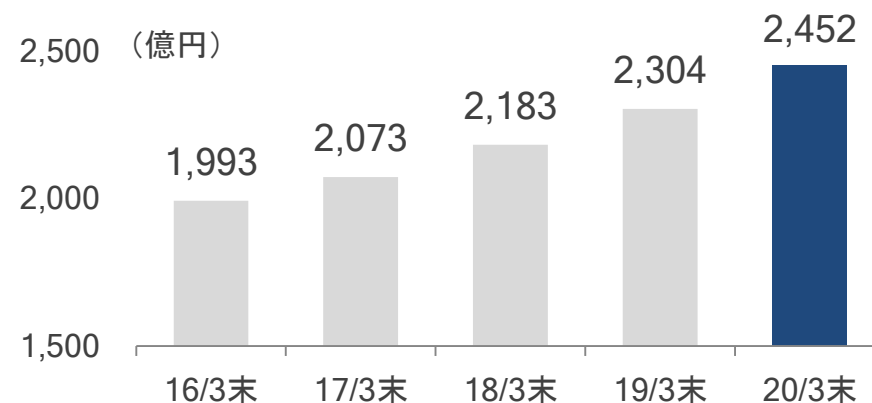
預金残高

	19/3末	20/3末	前年比
預金残高	9,487	9,346	△141
うち個人預金	6,464	6,519	+55
うち法人預金	2,392	2,230	△162

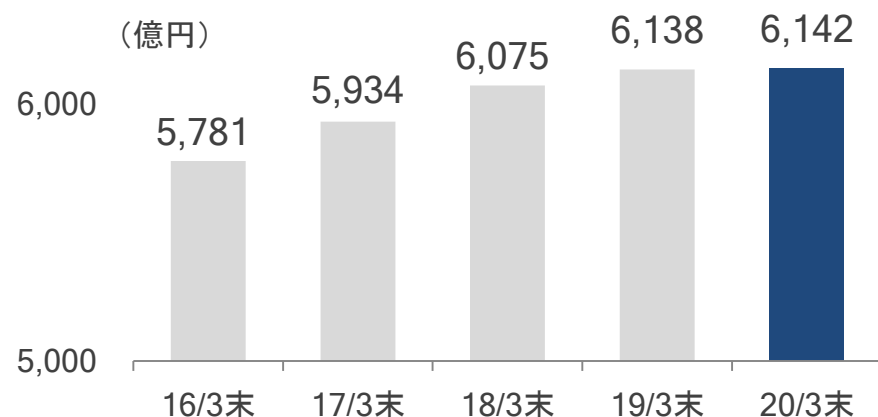
貸出金残高

	19/3末	20/3末	前年比
貸出金残高	7,748	7,786	+38
中小企業向け	2,304	2,452	+148
個人向け	2,440	2,466	+26
公共・その他	3,002	2,866	△136
貸出金残高	7,748	7,786	+38
うち鳥取県内店	6,138	6,142	+4
うち鳥取県外店	1,609	1,644	+35

中小企業向け貸出

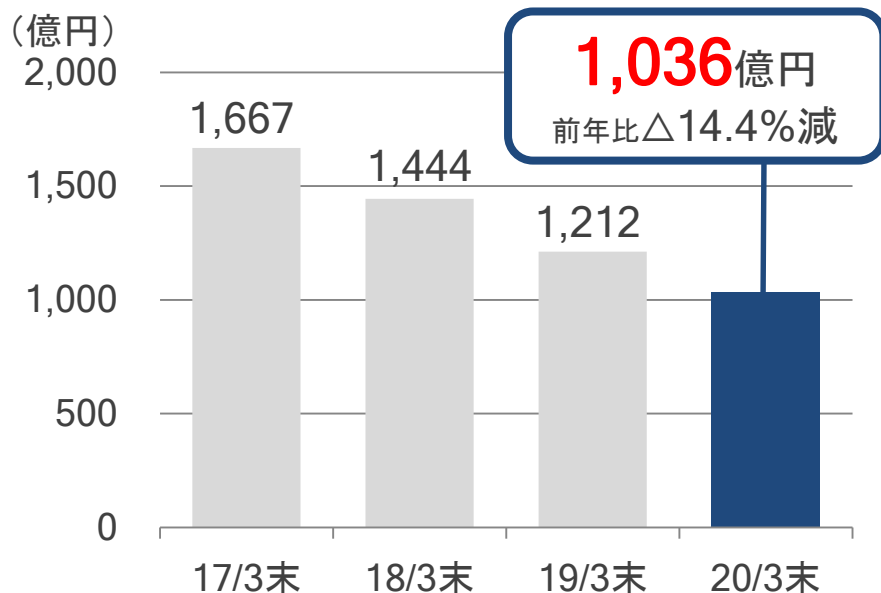


鳥取県内店貸出金

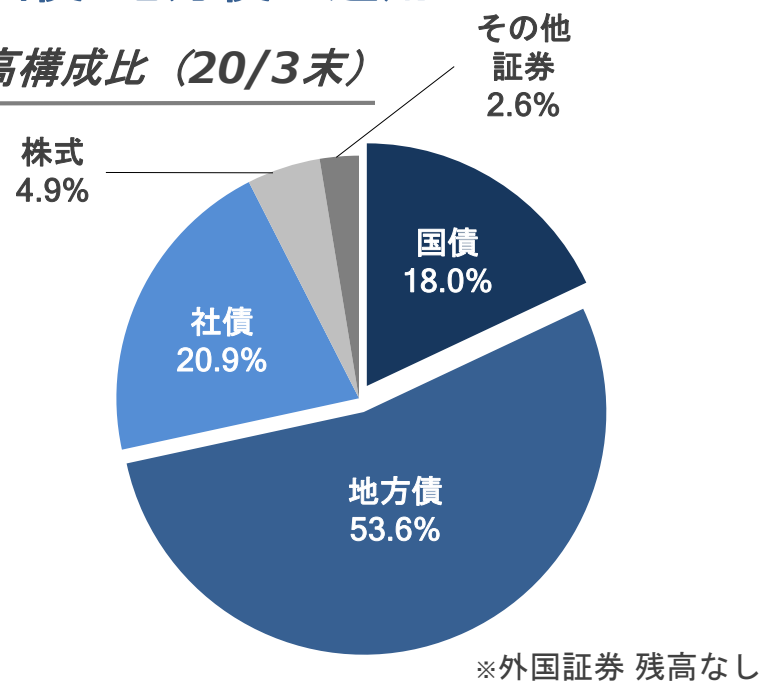


～有価証券の約7割は安全性・流動性の高い国債・地方債で運用～

有価証券残高



残高構成比 (20/3末)



有価証券評価損益

年間増減額	(億円)
年間増減額	△175
国債	△53
地方債	△22
社債	+6
その他	△105

	19/3末	20/3末	増減
評価損益	21	6	△15
株式	△0	△2	△2
債券	17	12	△5
その他	4	△3	△7

～預り資産関連手数料が増加し役務利益は増加～

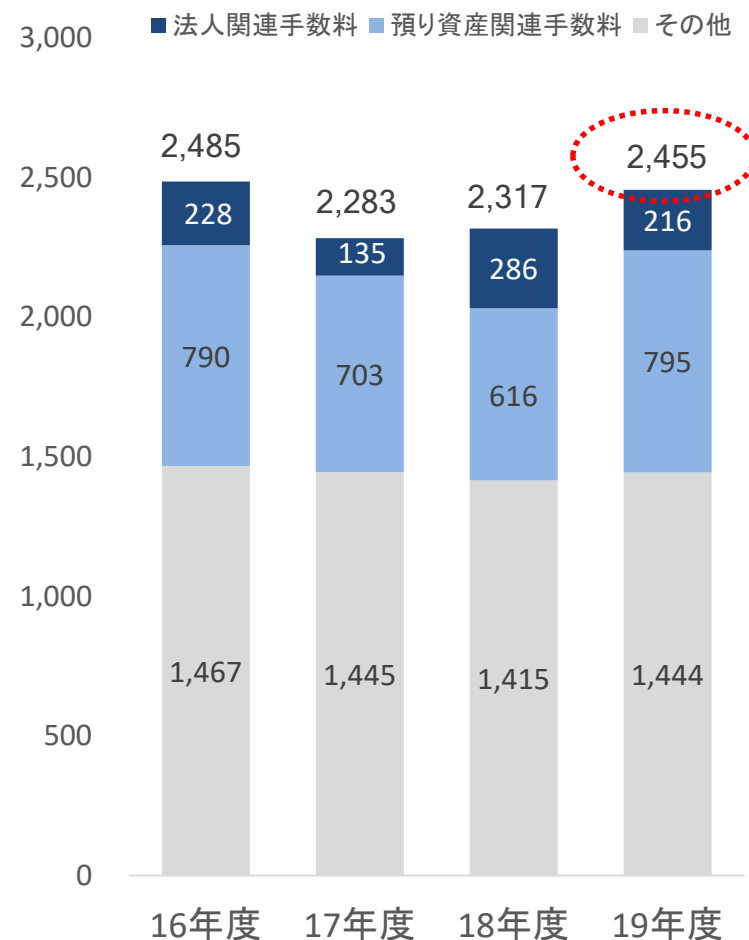
役務利益

(百万円)

	19年度	20年度	前年比
役務利益	983	1,108	+125
役務収益	2,317	2,455	+138
法人関連手数料	286	216	△70
預り資産関連手数料	616	795	+179
投信関連手数料	383	469	+86
保険手数料	184	304	+120
金融商品仲介手数料	48	22	△26
役務費用	1,333	1,346	+13
支払手数料・保証料	1,333	1,346	+13

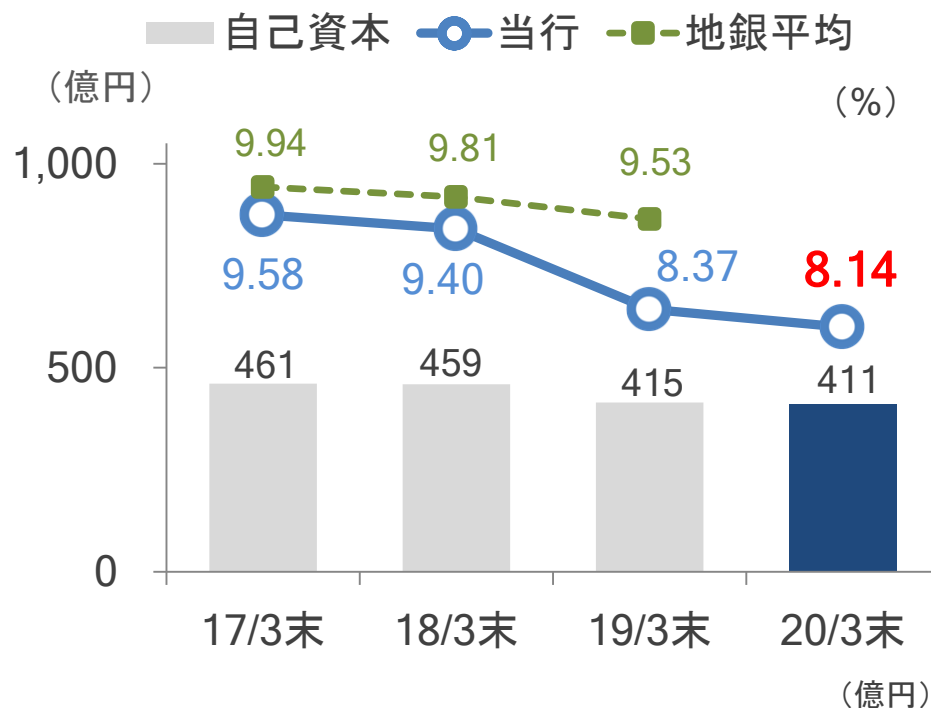
役務収益推移

(百万円)



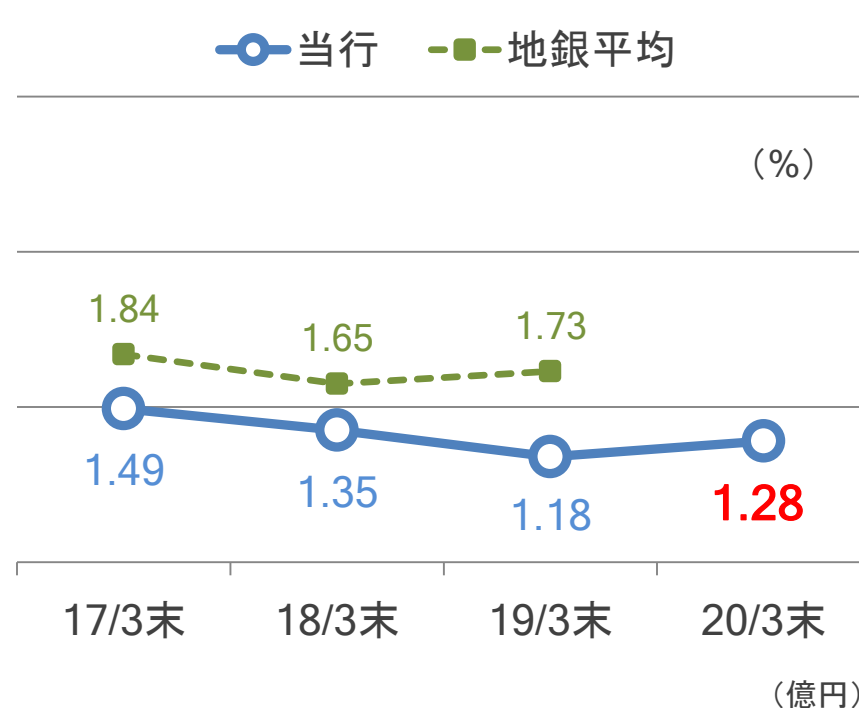
～自己資本比率は貸出金増加等により低下、不良債権比率は低水準を維持～

自己資本比率



	19/3末	20/3末	増減
自己資本	415	411	△4
うち調整項目	△41	△50	△9
リスク・アセット等	4,969	5,055	+86
自己資本比率	8.37%	8.14%	△0.23%

不良債権比率



	19/3末	20/3末	増減
不良債権額	94	102	+8
正常債権	7,864	7,910	+46
総与信額	7,958	8,012	+54
不良債権比率	1.18%	1.28%	+0.10%

～経常利益11億円、当期純利益7億円を計画～

業績予想

(億円)

	19年度	20年度 予想	前年比
業務粗利益	107	102	△5
資金利益	94	89	△5
役務利益	11	12	+1
その他業務利益	1	1	0
うち債券関係損益	0	0	0
経費	92	95	+3
うち人件費	43	44	+1
うち物件費	44	43	△1
実質業務純益	14	7	△7
コア業務純益	13	7	△6
与信コスト	7	1	△6
経常利益	14	11	△3
当期純利益	8	7	△1
1株当たり配当金（年）	50円	50円	±0円
年間配当額（百万円）	468	468	±0
配当性向（％）	52.3	66.8	+14.5

業績予想のポイント

①中小企業向け貸出増加

- ・コロナ関連融資等に積極的に対応
- ・中小企業向け貸出の増強継続

②コンサルティング営業の強化

- ・事業承継・M&Aやビジネスマッチングの担当者増員
- ・法人デスク拡充によるコンサル提案強化
- ・楽天証券との提携による商品の差別化
- ・きめ細かい情報提供でお客さまをフォロー

③経費

- ・退職給付費用の効果減少により人件費増
- ・投資案件の厳正化や物件費削減継続

④与信コストコントロール

- ・本部の経営改善支援体制強化
- ・経営改善支援や事業再生に係る取組強化